

実践②

「未来のためにできることを」

板野町役場消費生活相談所
高畑ふみ

令和元年五月



👑 エシカル消費

人・社会・地域・環境への配慮

未来のために
自分のために

エシカル商品を選ぶ

皆さん、今日は、エシカル消費推進の現場担当「高畑先生」のお話を聞いてみましょう。高畑先生は、前から『オーガニック商品』の購入や『地産地消』を心がけていたそうですよ。それでは、よろしくお願いします。

こんにちは、高畑です。私は、板野町でエシカル消費推進の現場を担当していますが、エシカル消費という言葉を知る前から、子どもが生まれたことをきっかけに、“子ども達の口へ入るものは、少しでも安心で安全なものを”、という思いから「オーガニック商品」の購入や「地産地消」を心がけていました。

そして、この心がけがエシカル消費のひとつなんだと、エシカル消費の研修に参加し、初めて知りました。それから、深くエシカル消費を学ぶ中で、自然環境破壊や児童労働、動物虐待など、自分には関係のない“他人事”だと思っていたことが…、実は、私たちの消費行動に原因があるのかな？と、“自分事”として捉えるようになり、**未来の子ども達に安心できる持続可能な社会をつながたい**、と考えるようになりました。

でも、私も正直、何から取り組めばいいのかわかりませんでした。そこで、今まで自分や家族のためにしてきたオーガニック商品の購入や地産地消に、**自然環境や地域への配慮という気持ちをプラスして続けていくことからはじめてみました。**その次に、マイバックの持参、食べ残しをしないこと、フェアトレード商品の購入、肉や卵はストレスフリーで育ったものを購入するなど、**自分が興味を持ち、出来ることを増やしていきました。**

皆さんも、まずは『知って』、次に『興味を持って』、そして『行動』に移してみてくださいね。

高畑先生、ありがとうございました。“他人事”から“自分事”として捉えた変化が、第一歩だったんですね。

来月も、エシカル消費を実践している方のお話を掲載しますので、ぜひご覧ください。

板野町は、エシカル消費を推進しています。

お問い合わせ 役場産業課 ☎ 672-5994

【ひとくちメモ】

※エシカル消費には、皆さんが普段から何気なく行っているリサイクルや地産地消などの取り組みも含まれます。

高畑先生が行ってきた

平成31年2月24日(日)、小松島市のあいさい広場で開催されたオーガニックエコフェスタに行ってきました。おいしくてからだに優しい農産品が並びマルシェや多彩なゲストによるクッキングショーなどが開催され、多くの方で賑わっていました。

私も、オーガニック野菜を作る過程や思いが聞けて、とても良い勉強になりました。



『エシカル消費』とは、人・社会・地域・環境などに配慮した商品を選択することです。

ある日の先生



高畑先生は変わった

元号が変わった



私も…変わる!!

